

# 日本の草木染め

## —赤と青の染料の種類とその現状—

期間：2月26日(水)～3月27日(木)

### ミニ文化祭

東海大学教養学部  
人間環境学科自然環境課程  
藤吉研究室

昔から人々は、自然の恵みを最大限に利用して暮らしてきました。その中から生まれた知恵の一つに、糸や布を植物から染める「草木染め」があげられます。草木染めは、どのような植物でも染色材料になることが魅力ですが、中でも青や赤に染まる植物がより活用されてきました。しかし、明治以降、より短時間で簡単に染まる人工化学染料が生み出され、染色環境が大きく変化してしまいました。

現在、天然染料はどうなっているのでしょうか。私たちは、赤と青を出す植物に注目し、植物の種類やその現状について調べました。実際に、現在でも染料の栽培が盛んに行われている地域へ行き、そこで染めた布や染料も展示してあります。

今回の展示にあわせて、染色を体験するイベントを行います。ぜひお越しください。

学生代表 平野夏美



### 染色体験! アカネ染めのハンカチを作ろう

内容：ハンカチをセイヨウアカネで染めます。汚れてもいい服装でお越しください。

日時：3月9日(日)、15日(土) 10時～13時

場所：科学教室

指導：東海大学教養学部人間環境学科藤吉研究室

参加：各日15名。参加費無料。小学生以下は保護者同伴のこと。

当日9時50分に博物館科学教室に集合。希望者多数の場合は10時にくじ引きで決定します。

↑こんなハンカチができるよ!色はもろんアカネ色☆